

〔令和2年度〕

児童養護施設

職員用サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)

記入の手引き

■サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)の構成

- (1) この「サービス分析シート（6. サービス提供のプロセス）」は、
カテゴリー6「サービス提供のプロセス」を評価するためのものです。
- (2) この「サービス分析シート（6. サービス提供のプロセス）」は、6つのサブカテゴリーに
分かれています。
そして各サブカテゴリーはさらに評価項目、標準項目と分かれており、よりサービスの具体的
な内容が記述されています。

■評価の進め方

- (1) それぞれの標準項目について、実施されているかどうか職員自己評価項目により
評価を行っていただきます。
- (2) それぞれの質問に対し、「**そう思う**」「**そう思わない**」「**わからない**」のうち、あてはま
るところに○印をつけてください。
自分が直接関わっていない仕事についても、周囲の様子などから判断し、「**そう思う**」・
「**そう思わない**」のいずれかに○をつけてください。
見当がつかないという項目については「**わからない**」の欄に○をつけてください。

■回答シート

- (1) この「サービス分析シート（6. サービス提供のプロセス）」で評価したうえで、
回答シートに転記し、回答シートのみ提出してください。
- (2) この「サービス分析シート（6. サービス提供のプロセス）」は、日常の業務点検などに
活用していただければ幸いです。

※ 回答していただいた内容は、個人の評価や成績をつけるものではなく、事業所の取り組みを
評価するために使用します。

カテゴリー6 サービス提供のプロセス

サブカテゴリー1 サービス情報の提供

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
6-1-1	子どもや保護者等に対してサービスの情報を提供している	1 子どもや保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	☐	☐	☐
		2 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	☐	☐	☐
		3 子どもや保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	☐	☐	☐

サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
6-2-1	サービスの開始にあたり子どもや保護者に説明し、理解を得るようにしている	1 サービスの開始にあたり、施設の基本的ルール、権利擁護の取り組みをはじめとした重要な事項等を子どもや保護者の状況に応じて説明している	☐	☐	☐
		2 サービス内容について、子どもや保護者の理解を得るようにしている	☐	☐	☐
		3 サービスに関する説明の際に、子どもや保護者の意向を確認し、記録化している	☐	☐	☐
6-2-2	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている	1 サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	☐	☐	☐
		2 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	☐	☐	☐
		3 入所以前の生活習慣等をふまえた支援を行っている	☐	☐	☐
		4 サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、退所後の支援の継続性にも配慮している	☐	☐	☐

サブカテゴリー 3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目		職員自己評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに○)		
				そう思う	そう思わない	わからない
6-3-1	定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している	1	子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	☐	☐	☐
		2	子ども一人ひとりのニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	☐	☐	☐
		3	アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	☐	☐	☐
6-3-2	子どもや保護者の希望と関係者の意見を取り入れた自立支援計画を作成している	1	計画は、子どもの最善の利益を第一に、子どもや保護者の希望を適切に反映して作成、見直しをしている	☐	☐	☐
		2	計画を子どもにわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	☐	☐	☐
		3	計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直すとともに、緊急に支援内容を変更する必要がある場合の対応や計画変更のしくみを整備している	☐	☐	☐
6-3-3	利用者に関する記録を適切に作成する体制を確立している	1	子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	☐	☐	☐
		2	計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	☐	☐	☐
6-3-4	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している	1	計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	☐	☐	☐
		2	申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	☐	☐	☐

サブカテゴリー4 サービスの実施

評価項目		職員自己評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに○)		
				そう思う	そう思わない	わからない
6-4-1	個別の自立支援計画に基づいて、自立した生活が営めるよう支援を行っている	1	個別の自立支援計画に基づいて支援を行っている	☐	☐	☐
		2	子ども一人ひとりに合った方法で、子どもと職員との愛着関係や信頼関係を構築するために受容的・支持的な関わりをしている	☐	☐	☐
		3	小規模なグループでケアを行うなど、子どもが家庭的な環境の中で生活できるよう支援を行っている	☐	☐	☐
		4	子どもの発達支援等ため、精神科医等が子どもの発育等に応じ個別判断した上で、児童相談所と協議し、適切な職員等が生い立ちを振り返る取り組みをしている	☐	☐	☐
		5	退所後の安定した生活基盤の確保に向け、関係機関や関係職員が連携をとって、リビングケア(退所後の生活を見越した支援)を行っている	☐	☐	☐
		6	退所後は計画に基づいて、一人ひとりに応じた支援を関係機関や関係職員と連携して行っている	☐	☐	☐
6-4-2	家族等との関係構築に向けた取り組みを行っている	1	家庭支援専門相談員を中心に、家族等との関係構築のための支援方針が明確にされ施設全体で共有されている	☐	☐	☐
		2	子どもの最善の利益を第一に子どもや保護者等の意向を確認しながら、関係機関と連携をとって、子どもと家族の関係調整に取り組んでいる	☐	☐	☐
		3	子どもの状況や行事等の情報を個別の連絡により保護者等に知らせている	☐	☐	☐
		4	保護者等との面会、外出、一時帰宅等は、状況を把握したうえで、子どもの安全に注意しながら行っている	☐	☐	☐
		5	養育家庭や養子縁組等の制度が有効に活用されるよう児童相談所と連携をとっている	☐	☐	☐
		6	入所中の子どもの家族等(里親を含む)に対し、退所後の生活を想定したさまざまな支援を行っている	☐	☐	☐
6-4-3	子どもが楽しく安心して食事ができるようにしている	1	楽しい食事となるような環境を整えている	☐	☐	☐
		2	食事時間は子どもの希望や生活状況に応じて対応している	☐	☐	☐
		3	食事の献立は、子どもの状況(食物アレルギーや疾患等)に関する主治医等の指示を含む)や嗜好に応じて工夫している	☐	☐	☐
		4	食習慣の確立や食についての関心向上のため、関係職員と連携して食育の推進に取り組んでいる	☐	☐	☐

令和2年度 児童養護施設版 サービス分析シート(職員用)

6-4-4	子どもの健康を維持するための支援を行っている	1	入所もない子どもの健康状態(口腔ケア、視力等)に配慮し、健康維持のための支援を行っている			
		2	健康に関して、子どもに理解を促す取り組みを行うとともに、子どもからの相談に応じ、必要に応じて子どもや保護者等に説明をしている			
		3	子どもの服薬管理は誤りがないようチェック体制の強化などのしくみを整えている			
		4	医療機関と連携を行いながら、日頃の健康管理を行い、子どもの体調に変化があったときには、速やかに対応できる体制を整えている			
6-4-5	子どもの精神面でのケアについてさまざまな取り組みを行っている	1	子どもが心の悩みや不安を相談できるように工夫している			
		2	性についての正しい知識と理解が得られるよう、子どもの年齢や状況に応じた説明を行っている			
		3	子どもの課題に応じて、心理的ケアや医療的ケアが必要な場合は、関係職員・機関と連携をとって、支援を行っている			
6-4-6	子どもの主体性を尊重し、施設での生活が楽しく快適になるよう支援を行っている	1	居室等施設全体は、子どもの年齢や状況に応じて一人ひとりの居場所が確保され、安心、安全で快適なものとなるようにしている			
		2	日常生活や余暇の過ごし方は、子どもが主体的にかかわって決めている			
		3	行事やイベントの企画・準備は子どもとともに考え行っている			
		4	施設の生活ルールは子どもの意見を尊重し見直しを行っている			
		5	子どもが一人ひとりの希望や季節等に合った清潔な衣服を身に付けられるよう支援している			

令和2年度 児童養護施設版 サービス分析シート(職員用)

6-4-7	子ども一人ひとりに応じた学力向上・進路決定のための取り組みを行っている	1	基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識、社会規範及び生活知識・技術を身につけられるよう支援を行っている			
		2	学習環境を整備し、基礎学力の向上・学習習慣獲得のための支援を行っている			
		3	子どもの意欲・意思や能力に応じた学習教材・塾等を活用している			
		4	進路について、子どもと保護者等、学校、施設による話し合いを行っている			
		5	多様な選択肢を提示したうえで、子どもの最善の利益にかなった進路の自己決定ができるよう支援している			
		6	個別に必要な時期・状況で、職場実習や職場体験、アルバイト等の社会経験を積めるよう支援している			
6-4-8	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている	1	地域の情報を収集し、子ども一人ひとりの状況に応じて活用している			
		2	施設の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している			
		3	子どもに、地域と日常的に関わりながら生活していることの大切さを伝えている			

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
6-5-1	子どものプライバシー保護を徹底している	1 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、子どもや保護者の同意を得ようとしている	☐	☐	☐
		2 個人の所有物や郵便物の扱い、居室への職員の出入り等、日常の支援の中で、子どものプライバシーに配慮した支援を行っている	☐	☐	☐
		3 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	☐	☐	☐
6-5-2	サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している	1 「子どもの権利ノート」などにより、子どもの基本的人権について、日常生活の中でわかりやすく説明している	☐	☐	☐
		2 子どもが意見を表明しやすい環境をつくるなど、子どもの権利が守られるように取り組んでいる	☐	☐	☐
		3 子ども一人ひとりの価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	☐	☐	☐
		4 施設内の子ども間での暴力・いじめ等が行われることのないよう組織的に予防・再発防止を徹底している	☐	☐	☐

サブカテゴリー6 事業所業務の標準化

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
6-6-1	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	1 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	☐	☐	☐
		2 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを定期的に点検・見直しをしている	☐	☐	☐
		3 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	☐	☐	☐
6-6-2	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	1 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	☐	☐	☐
		2 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や子ども・保護者等からの意見や提案を反映するようにしている	☐	☐	☐

○サービス分析シート（あてはまるもの一つに”○”を記入してください）